

# ESGレポート2021

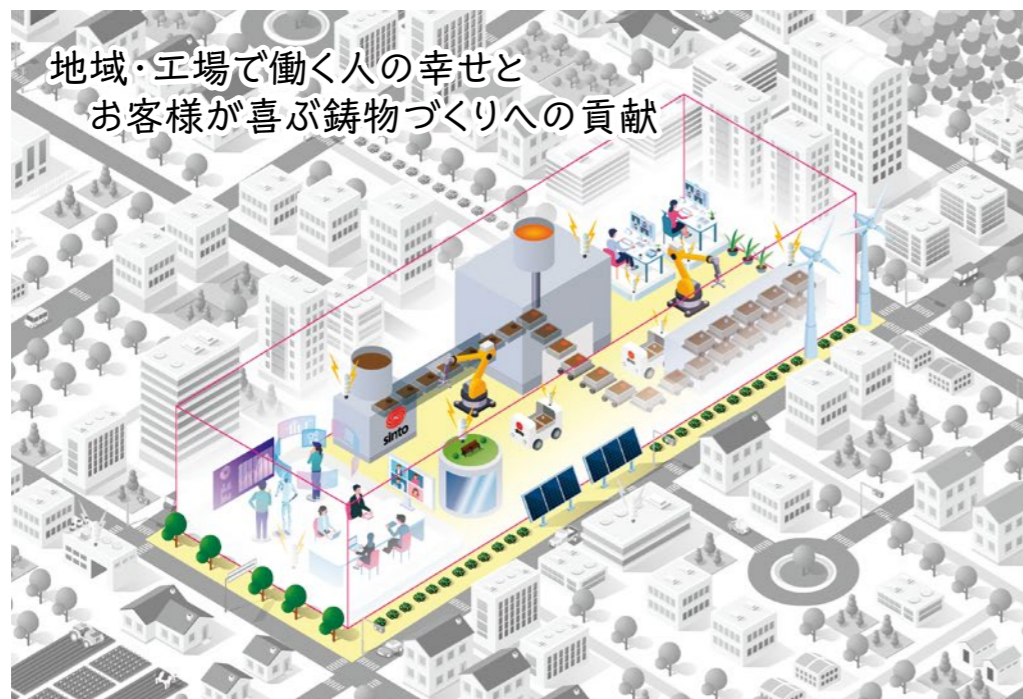


# 新中期経営計画「Plus」

新東工業グループでは、2021年4月から2024年3月までの3か年にわたる中期経営計画「Plus」を策定しました。  
 「デジタル活用で既存事業を更に進化」「新たな事業で新市場・新分野へのシフトを加速」「サステナビリティ社会実現へ」に取り組むことで、営業利益率8%以上を実現します。

## サステナビリティ社会実現へ

### 事業活動を通じた社会貢献



### 個人のエコ意識から始める社会貢献

#### 新東工業グループ オリジナルの目標の設定



身近でできることからひとつずつ、  
 着実に取り組んでいく社員一人ひとりの「エコ意識」。  
 全世界の社員一人ひとりが心をひとつに、  
 ものづくりや商品開発、販売といった  
 それぞれの持ち場に加え、普段の生活においても、  
 環境に配慮した取り組みを「自分ごと」としてとらえ、  
 これまで以上に積極的に活動し、  
 新東工業グループをあげて取り組んでまいります。

# 2020年度 トピックス

新東工業グループは、すべての事業活動・企業活動を通じて、社会課題の解決に取り組むことで「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献していきます。

## 「新東ファーム」の開園

2020年6月1日、愛知県小牧市に「新東ファーム」を開園しました。「新東ファーム」は、(株)エスプールプラスが運営する「わーくはびねす農園あいち小牧」内にあり、知的・精神に障害を持つ当社社員がスタッフとなり、当社の福利厚生施設等向けに農作物を栽培しています。

現在、8名が2チーム体制で、ラディッシュやサラダ菜、ミニキャロット等の栽培に取り組んでいます。収穫した野菜は、社員食堂で提供される他、スタッフ自らの手で袋詰めし、手作りの看板を掲げた社内向けの即売会も行っています。

「新東ファーム」の活動を通じて、多様な人材が活躍できる環境づくりを推進していきます。



## 人手不足の解消～手荷物自動積み付けロボット～

当社グループ会社、株式会社メイキコウ(愛知県豊明市)は、これまで培ってきたロボットハンドリングシステムをもとに、全日本空輸と共同で「手荷物自動積み付けロボット」を開発し、九州佐賀国際空港に納入しました。

これまで作業員で行っていたキャリーケースを荷車(バルクカート)に積む作業を自動化した国内初の空港設備となります。このシステムにより、安全に効率よく積み付けられるとともに、作業員の負担軽減を実現しました。

これからも、人手不足が課題となっている物流業界において、働きやすい環境づくりに貢献していきます。



## 介護者の負担軽減に貢献

2021年1月、便検知に特化したウェアラブルなセンサ「Aiserv™(アイサーブ) 排泄検知システム」を発売しました。

このシステムは、特別養護老人ホームなどの高齢者福祉施設を対象として、被介護者(特に寝たきり、皮膚が弱い、便意を表現できない方)に対し、おむつの内側にウェアラブルなセンサを装着することで、ベッドやトイレ、車椅子、食事中等、リアルタイムに排泄を介護者に知らせることが可能となります。

その結果、通知があったタイミングで効率的に伺うことができるため、無駄の少ないおむつ交換が可能となり、介護者の負担軽減に貢献します。



# サステナビリティ経営に向けて

新東工業は、1934年の創業以来、「ものづくりの心を大切に、社会に貢献したい」という思いのもと、世界に通用する技術を追求する歴史を歩んでまいりました。

社会の潮流をとらえ、社会に求められる技術を通じ、皆さまの暮らしを支える新東工業の精神は、現在にも受け継がれています。これからも、新東工業の原点である培われた技術と信頼を大切にしながら、未来に向けて挑戦し続けていくことで、すべてのステークホルダーの皆さまと絆を深め、新たな価値を提供し続けてまいります。



2020年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの生活において忍耐が求められた一方、思いやる気持ちの大切さを感じた一年となりました。まずは、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。そして、感染拡大防止に向けて、あらゆる国と地域の最前線でご尽力されている多くの方々に深く敬意を表すとともに、感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、世界経済全体に影響を及ぼしておりますが、それ以前からすでに、当社を取り巻く事業環境は激変しています。このような中で、お客さまに選ばれ続けるための取り組みを更に加速していくため、新たな中期経営計画「Plus」を策定いたしました。この計画では、デジタル活用で既存事業を更に進化させるとともに、新たな事業で新市場・新分野へのシフトを加速させる事業戦略の方向性を示しています。

こういった環境変化に対応しながらも、持続可能な社会の実現のためには、より一層サステナビリティ経営の

推進が重要であると考えています。当社はこれまでも、すべての事業活動においてESGの推進を最重要課題と捉え、取り組んでまいりました。例えば、環境に配慮した商品開発やものづくり、世界中のお客さまや地域の皆さまとの絆の強化、そして誠実な経営を真摯に、愚直に進めてまいりました。このように「社会に貢献したい」という創業からの思いが、当社のサステナビリティ経営の原点となっております。

そして、現在、地球温暖化への対応として、脱炭素社会に向けた取り組みは待ったなしの状況となっております。今後はカーボンニュートラルの実現に向け、新東工業グループ一体となって、推進していきたいと考えています。加えて、グローバルに事業展開を進めている当社も国際社会の一員として、SDGsの達成に関する責務をしっかりと果たしてまいります。

依然として、経済的な厳しさは続くと思われまます。しかし、社員一人ひとりが自分たちだけのことではなく、何か少しでも、社会のために、みんなのために、と思い行動しながら、粛々と自身の技能を磨くことで、社会にプラスになる事を、環境にプラスになる事を、世界の仲間、そして、未来の仲間にプラスになる事を、私たち自身の自らの行動によって、力強く作りあげていきます。

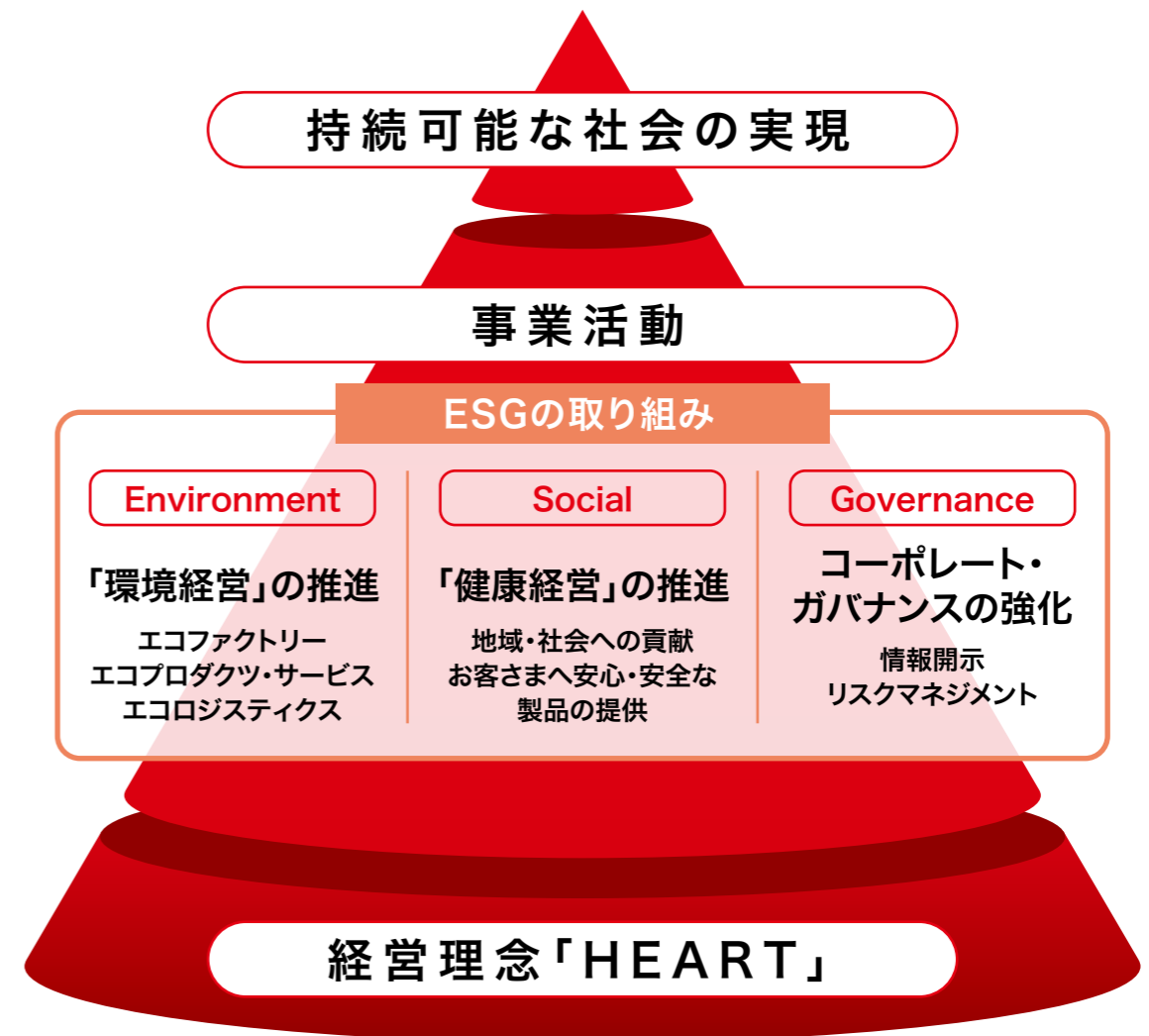
さらに、その先の未来のためにも、企業の成長と社員一人ひとりの成長を通じて、社会から必要とされる企業であり続けるよう、サステナビリティ経営に取り組んでまいります。

私たちは今も、そして、これからも、企業価値の向上に挑戦し続けていきます。

代表取締役 社長執行役員  
永井 淳

## 新東工業グループとESGについて

新東工業グループは、ESG(環境「Environment」、社会「Social」、ガバナンス「Governance」)分野での取り組みを最重要課題と捉えております。「HEART“信頼される技術を通じて人間としての豊かさと成果を”」という経営理念に基づき、すべての事業活動においてESG課題の解決に取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



## SDGsの取り組み

2030年までに貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、持続可能な開発のために、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」が国連総会で採択されています。

新東工業グループにおいても、ESG経営の推進に取り組むことで、SDGsの達成に貢献してまいります。

**E S G** 環境とともに  
 ～低炭素社会の構築に、ものづくりと商品で貢献する～



新東工業グループの「環境経営」

当社は、1934年の創業以来、「ものづくりの心を大切に、社会に貢献したい」という思いのもと、世界に通用する技術を追求する歴史を歩んできました。

また、公害という言葉がなかった1963年、当社は、環境問題への警鐘として、「花にも優しいモノづくり」の言葉に込めて、広告を掲載しました。

これが、当社の環境に対する考え方の原点となっています。

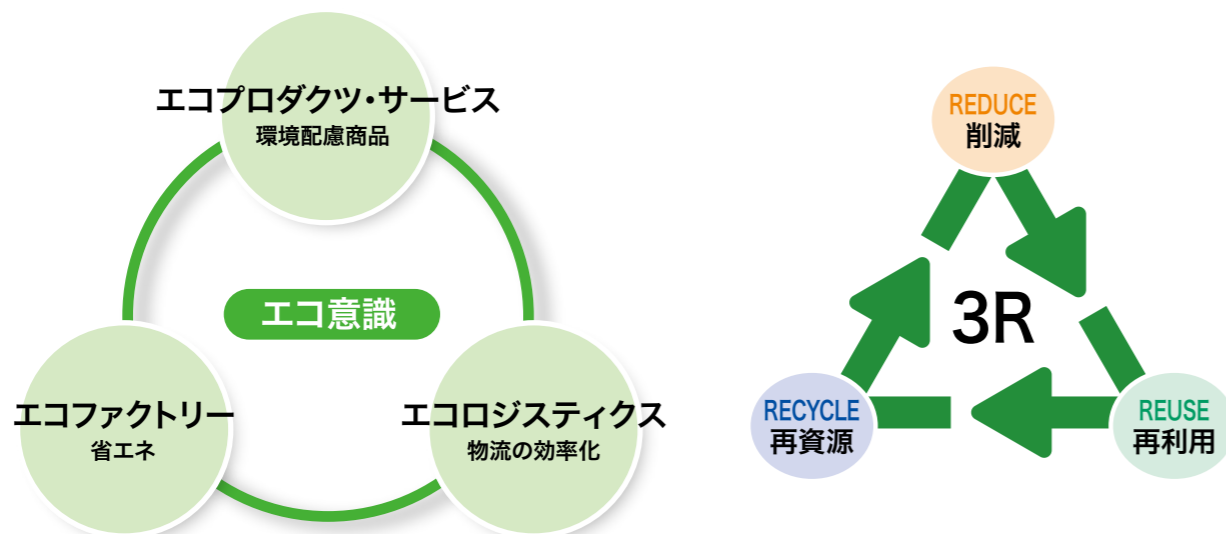
それから50年余り、当社は環境改善や保全活動を推進してきました。

そして、2017年には、創立100周年に向けて「環境経営」の方針を策定し、「エコプロダクツ・サービス(環境配慮商品の提案活動)」「エコファクトリー(省エネルギー活動)」「エコロジスティクス(物流の効率化活動)」の3つの活動により、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。

更に、「3R(廃棄物の削減活動)」や、当社製品をシンプル・スリムにするとともに、高効率の仕様とすることで、お客さまでの使用電力量の削減にも取り組み始めており、企業の責務である「カーボンニュートラル」の実現に向けた事業活動を加速させていきます。



1963年当時の企業広告「花にも優しいモノづくり」

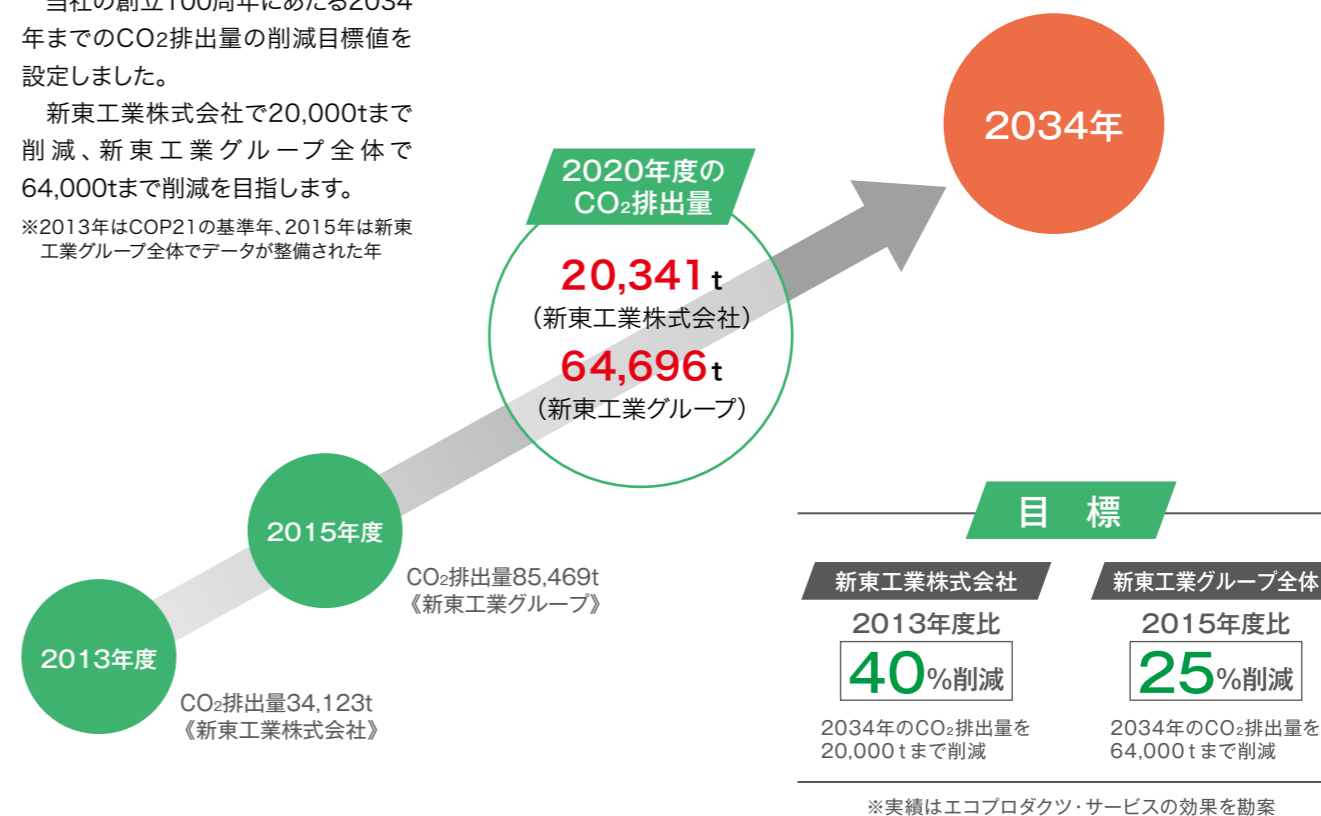


創立100周年に向けたCO<sub>2</sub>削減計画

当社の創立100周年にあたる2034年までのCO<sub>2</sub>排出量の削減目標値を設定しました。

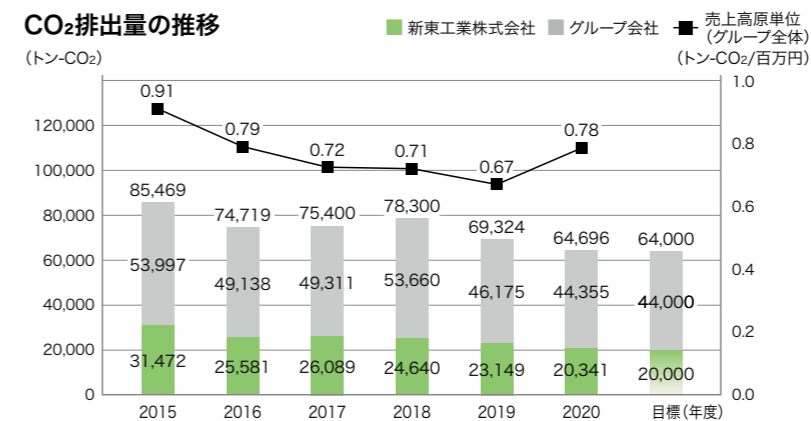
新東工業株式会社で20,000tまで削減、新東工業グループ全体で64,000tまで削減を目指します。

※2013年はCOP21の基準年、2015年は新東工業グループ全体でデータが整備された年



CO<sub>2</sub>削減計画に対する進捗状況

CO<sub>2</sub>排出量の削減目標値を達成するために、PDCAサイクルを回しながら、2020年度もすべての事業活動において環境に配慮した取り組みを推進しました。



2034年までの目標に対する達成度 ※2020年度末時点

新東工業株式会社 **97.6%**

新東工業グループ **96.8%**



## 「エコ意識」の向上

社員一人ひとりのエコ意識を向上させ、身近な活動に取り組んでいます。

### eco検定受験の促進

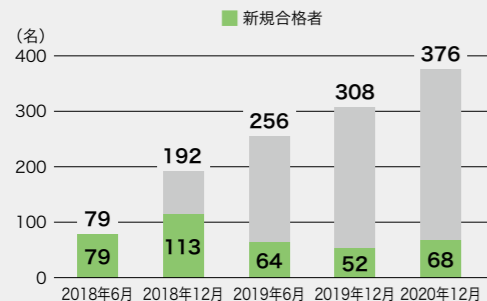
当社では、東京商工会議所主催の「eco検定(環境社会検定試験)」の資格取得に力を入れています。

2020年度までに376名のエコピープルが誕生しました。エコピープル発信による環境改善を進める等、社員のエコ意識向上に努めています。



社内講師による勉強会を開催

### eco検定 合格者の推移



### リサイクル活動への参画

エコキャップ・切手の売却益は、「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」を通じてワクチン支援に貢献しました。

[※ワクチン650本相当(2020年度)]

不要な家庭用パソコン・スマートフォン・携帯電話などは、「スペシャルオリンピックス日本応援プログラム」の趣旨に沿って提供し、大会運営の支援と働く場の創出に貢献しました。[※レアメタル25kg相当(2020年度)]



### 会社周辺の清掃活動

地域の美化向上とともに、社員の環境意識向上を図っています。



## 3Rの取り組み

循環型社会の形成のため、3R(リデュース×リユース×リサイクル)に取り組んでいます。

廃棄物の排出状況を確認し、2020年度は「廃プラ類」の削減施策に注目しました。

事業所ごとに新たな分別ルールを設定し、RPFなどの固形燃料化用途での排出を拡大させました。



分別ルールを順守するため、社員のアイデアや工夫を盛り込みました。例えば、廃棄物ごとに色を設定し、ゴミ箱の表示と並び順を合わせることで誤分別を削減することが出来ました。



廃棄物の色を決める



ゴミ箱の並びをそろえる



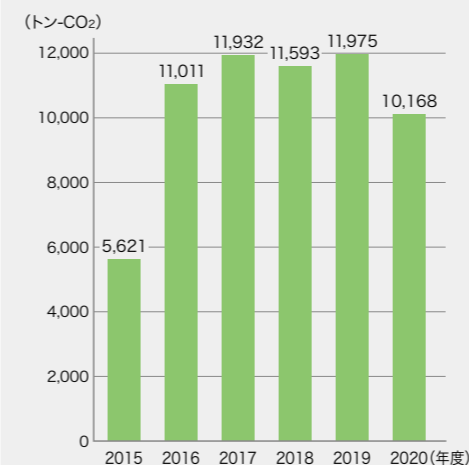
ゴミの現物を見ながらルール説明

## エコプロダクツ・サービス

環境に配慮した商品・サービスを提案し、お客さまのものづくりにおけるCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献します。

また、「サーキュラーエコノミー」につながるビジネスモデルをお客さまに提供することで、持続可能で低炭素、廃棄物の発生を最小限化する経済システムを構築していきます。

### CO<sub>2</sub>排出削減量



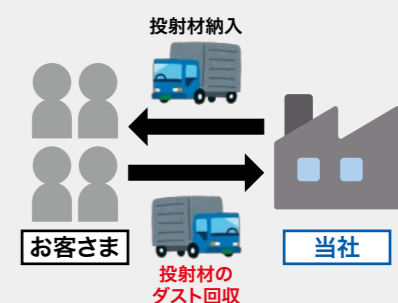
### インバータ制御による使用エネルギーの削減

集じん機にインバータを搭載することで、必要な時だけ稼働させることを実現し、使用エネルギーを削減しています。



### 注射材の回収システム

注射材を納入した際、空になったトラックを活用し、使用済みの注射材のダストを回収することで、再利用しています。

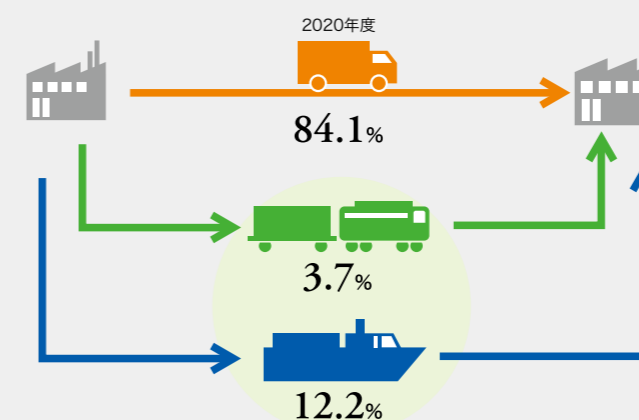


## エコロジスティクス

注射材の輸送を、トラックよりも環境への負荷が少ない鉄道や船に転換し、輸送時におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献しています。

また、トラック物流の効率化に取り組むことで、CO<sub>2</sub>排出量の削減、人的作業の削減、通い箱活用による廃棄物の削減を実現します。

### 輸送の構成比(トンキロベース)



### トラック便の効率化

部品物流を巡回便化し、CO<sub>2</sub>排出量削減を進めるとともに、通い箱化により、梱包材の削減・廃棄物削減を進めています。

2020年度は、便数を前年度比6%削減することができました。



### 大崎事業所 注射材エコレールマーク認定

環境負荷低減のため、鉄道貨物輸送への切り替えを進めています。



### エコシップ対象エリアの拡大

海運業者との連携により、東北地方のお客さまへの陸送を船輸送に切り替えました。結果として、CO<sub>2</sub>削減とともに、時間短縮、コストダウンにもつながりました。

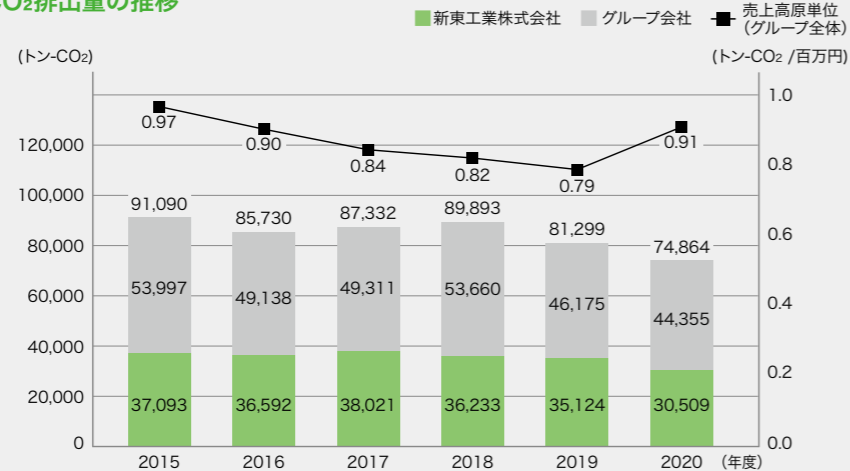




## エコファクトリー

「カーボンニュートラル」の実現を見据えて、社員一人ひとりが工夫して、身近なところから省エネ活動に取り組み、当社のものづくりから発生するCO<sub>2</sub>排出量を削減します。

### ものづくりにおけるCO<sub>2</sub>排出量の推移



### ものづくりにおける省エネ活動

シントー・ブラジル・プロダクト社(ブラジル)では、アチバイヤ工場の照明をLEDランプに置きかえることで、電力消費量を33,264kW/月から8,400kW/月まで削減しました。



照明の改善(LED化) (ブラジル)

また、台湾新東機械股份有限公司(台湾)は、ディーゼルフォークリフトの使用をやめ、電動フォークリフトを導入しました。

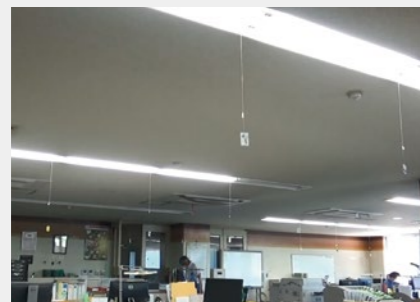


電動フォークリフトへ切り替え(台湾)

### 社員一人ひとりの身近な活動

社員自らが考えたCO<sub>2</sub>排出量の削減につながるアイデアや工夫などの提案を積極的に取り入れています。

使用電力量を減らす身近な活動を全事業所に展開し、横断的に実施しています。



照明の手元スイッチ化



エアコンにタイマーを設定し、ムダな稼働を削減

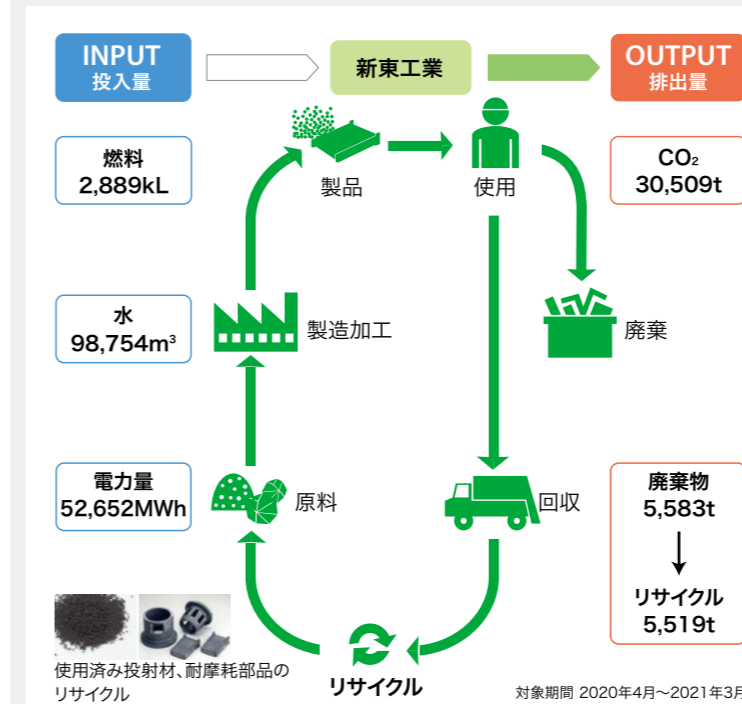


空調エリアを作業者の高さに限定

## 環境に関するデータの推移

### 事業活動における全体像

当社では、国内全事業所で、事業活動に用いるエネルギーや資源のインプット(投入量)とアウトプット(排出量)を把握し、それをムダなエネルギーの使用がないかを確認する指標とし、削減に努めています。



### 環境コスト

集計範囲：新東工業株式会社  
対象期間：2020年4月～2021年3月

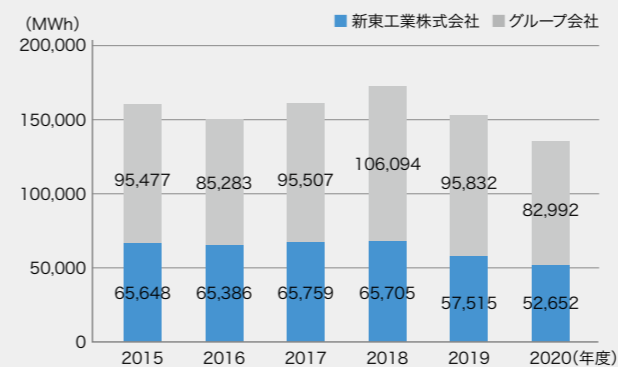
(単位：千円)

分類	金額
環境損失	0
維持コスト	115,254
環境投資	534,595
合計	649,849

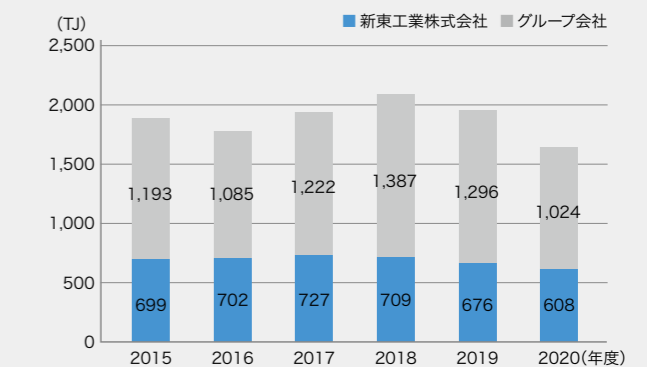
※環境省「環境会計ガイドライン」に準拠し算出しています。

### INPUT [対象範囲] 新東工業株式会社およびグループ会社

#### ●電力使用量の推移

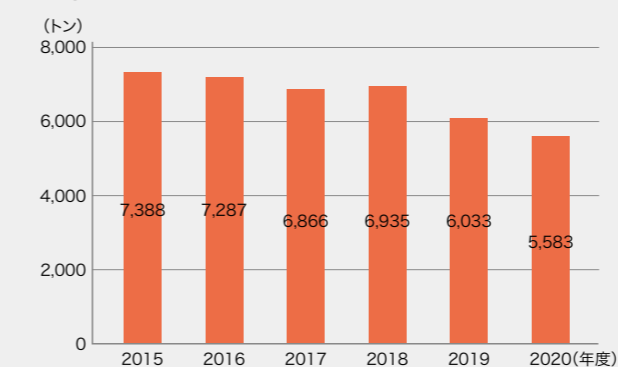


#### ●エネルギー使用量の推移

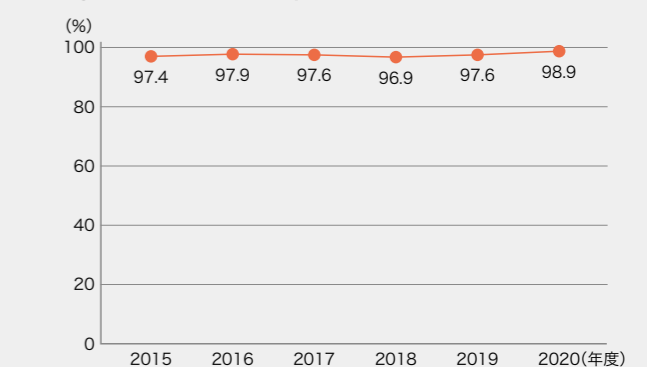


### OUTPUT [対象範囲] 新東工業株式会社

#### ●廃棄物排出量の推移



#### ●廃棄物全体のリサイクル率の推移



**E S G** 社会とともに  
 ~世界の各地でステークホルダーに寄り添う~



**「愛のキムジャン ボランティア」に参加**

韓国新東工業株式会社(韓国)は、2020年11月近隣の障がい者福祉施設で、「愛のキムジャン(キムチづくり)ボランティア」に参加しました。

韓国では、野菜の供給が難しくなる冬に備え、「キムジャン」として毎年11月末頃にキムチを大量に作り置きする伝統が現在でも続いています。

今回は、新型コロナウイルスの感染対策を行った上で、15名がキムチづくりを行い、交流を図りました。



ボランティアに参加した社員



**冬の衣類を子供たちへ寄付**

浙江新東鋼丸有限公司(中国)は、保険会社の寄付活動に賛同し、中国の山間地帯の子供たちが快適な冬を過ごすことができるように、2020年11月、防寒服等の冬の衣類を寄付しました。

労働組合の役員が中心となり、全社員に協力を呼びかけた結果、多くの衣類が集まりました。



寄付された冬の衣類



**フードバンクの活動を支援**

ドイツでは、社会的また経済的に恵まれない人々や多くの子供、若者に無料で、まだ食べられるにもかかわらず廃棄される食品を提供するフードバンクの活動を行う団体が多数あります。

ハインリッヒ・ワグナー・シントー社(ドイツ)は、この活動を支援するため、ドイツ最大の団体の1つである「DieTafel」へ、1,500ユーロ(約20万円)を寄付しました。



フードバンク「DieTafel」へ寄付

**インドネシアの子供たちへプレゼント**

インドネシアでは、ラマダンの月に、多くの企業が社会貢献活動を行います。シントーインドネシア社(インドネシア)でも、近隣の孤児院に支援を行いました。

2020年5月6日に訪問し、支援金と子供たちへプレゼントを贈呈しました。



子供たちにプレゼントを贈呈

**タイでの植樹活動**

タイ新東工業株式会社(タイ)は、2020年8月にパパイアの植樹活動を行いました。

パパイアはタイの人々にとって大変身近な果物であり、今回の植樹により自然の回復とともに、癒しとなる木陰を近隣に提供していきます。



**「新東いものキャンパス®」を開催**

私たちの暮らしの中で多くの鋳物製品が活用されていることを伝えるとともに、ものづくりの楽しさを体感してもらうことを目的に、毎年さまざまなイベントで鋳物づくりの体験ができる「新東いものキャンパス®」を開催しています。

2020年度は、名古屋商工会議所による「モノ+ガタリ」プロジェクトに参画し、名古屋市の中学校で「新東いものキャンパス®」の出前授業を行いました。



名古屋商工会議所「モノ+ガタリ」プロジェクトで鋳物づくりを学ぶ子供たち

## お客さま



### 安全な製品の提供

当社は、「安全はすべてに優先」の考えのもとに、お客さまに製品を安全にご使用いただくため、すべての製品に対して開発・設計段階からリスクアセスメントを実施して、安全な製品の提供に努めています。

製品安全設計の公的資格である「セーフティアセッサ」および「セーフティサブアセッサ」資格の取得を推奨しており、現在127名が資格を取得しています。

### 品質向上の取り組み

当社は、「不具合を再発させない」をスローガンに、発生した不具合に対して「なぜなぜ分析」の手法による徹底的な真因追究ならびに再発防止に努め、お客さま満足の向上につなげています。

近年、高度化するお客さまからの要求事項を実現するため、品質マネジメントシステムの継続的な改善を行っています。第三者機関による審査、内部監査を通じて、適切な仕組みを構築しています。

### お客さまに安全・安心をお届けするために ～粉塵火災対策システムのご提案～

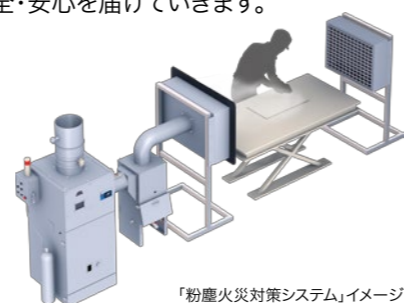
安全で健康な作業環境を実現するためには、粉塵を取り除く集塵機の存在が欠かせません。しかし、時として集塵機が火災を引き起こしてしまうケースがあります。

ものづくりの現場での火災は、工場の安定操業を妨げるだけでなく、そこで働く人や地域社会にも多大な影響を与えてしまうため、常に火災への対応が求められています。

加えて、昨今、火災によるサプライチェーン全体への影響が深刻な問題となっており、ますます火災対策は重要な課題となっております。

当社は、火災リスクを低減するために、独自の技術を用いた「粉塵火災対策システム」を開発しました。このシステムは、「火災の発生を防ぐ」、「火災の延焼を防ぐ」、更には「火災被害を最小限に留める」という視点で、集塵システムの入口部から出口部まで、火災対策アイテムを組み合わせることで、粉塵火災のリスクを限りなくゼロに近づけることを実現しました。

火災対策のご提案によってお客さまの安定操業を支えることで、社会的課題の解決にも貢献するとともに、働く人や地域社会に安全・安心を届けていきます。



「粉塵火災対策システム」イメージ

## ビジネスパートナー



### お取引先の皆さまへCSR活動を展開

当社の重要なビジネスパートナーとして、多くのお取引先の皆さまと想いを共有しながら、ものづくりに取組んでいます。定期的に情報交換会を開催し、「公平・公正な取引」「法令順守」「安全・品質・環境」について、考え方の普及と理解に努めています。

2020年度は、お取引先の会「新睦会」でのリモート勉強会を通じて、当社の品質に対する取り組みをもとに、お取引先さまと一緒に改善に取り組んだ活動を皆さまと共有し、更なる品質の向上につなげる活動に取り組まれました。「ものをつくり易い」図面はどういったものなのか、新睦会で一緒に考え、図面へ反映させていく改善活動にもつながっています。

また、廃棄物を削減する目的で、お取引先さまから、当社への物の運送時に通い箱を使って運搬することによって、梱包資材などの使用を削減する環境へ配慮した活動を新睦会で推進しており、今後も継続してまいります。



お取引先の会「新睦会」での勉強会

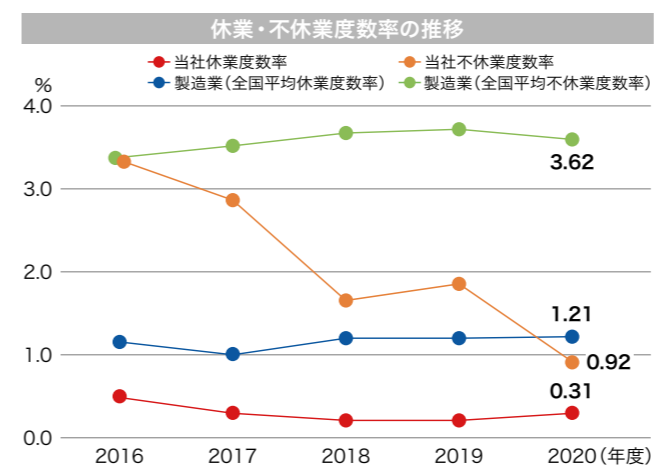
## 社員



### 安全に向けた「人づくり」

当社は、安全方針である「人間性を尊重し『安全最優先』と『健康増進』」を基本理念とし、すべてのお客様に信頼、共感される企業を目指し、全ての社員が一体となって安全衛生活動を進めるべく、OSHSMS(労働安全衛生マネジメントシステム)認証を全国7事業所で取得しています。その結果、自主的に安全活動ができる職場環境が定着しています。

また、各連休工事前には指導員や工事協力会社に対し、安全大会および激励会を開催しています。トップ自ら安全に関する強い思いを伝えるとともに、無事故・無災害での工事となるよう全員で安全意識の向上を図っています。



### 海外グループ会社での「安全」の取り組み

新東工業グループでは、海外拠点においても、安全文化の定着を目指し、さまざまな取り組みを行っています。

青島新東機械有限公司(中国)では、毎年、安全大会を開催している他、2020年度は「クレーン操作技能」「危険予知能力」「安全知識」に関する競技会の実施や「指差呼称」の浸透活動を通じて、安全意識の向上を図っています。

オメガ・シントー・ファンドリー・マシナリー社(イギリス)は、労働安全衛生マネジメントシステムの強化に取り組み、2020年12月にISO45001の認証を取得しました。

その他、浙江新東鋼丸有限公司(中国)は、地域の安全教育施設で社員の研修を行う等、グループ一丸となって、グローバルで安全意識の向上を図っています。



青島新東機械有限公司(中国)で開催した安全大会

### 「健康経営」の推進

当社は、人材こそ企業にとって最大の財産であり、その成長と活躍が企業全体の発展につながると考えています。このような「活人主義」の考えのもと、人間性を尊重し、社員が心身ともに健康で、一人ひとりが輝きある人材として自身の役割を最大限に発揮できる会社を目指しています。

それに向けた健康経営推進の取り組みとして、組織的な健康施策(生活習慣病・メンタルヘルス対策、ワークライフバランスの推進等)を展開し、社員とその家族自身が行う健康づくりを積極的に支援しています。

### 新型コロナウイルス感染症対策

当社では感染拡大防止のため、基本的な感染予防の周知徹底を含め、以下のような様々な対策を講じています。

- ・入社前の検温の実施
- ・マスク着用、手洗い・手指消毒、うがいの徹底
- ・職場の換気、共有部分の定期的な消毒の実施
- ・食堂の利用方法の変更、黙食の実施
- ・会議等のWEBでの実施の推奨
- ・職場レイアウトの変更、職場の分散
- ・不要不急の外出・移動の制限
- ・国内外の出張の制限
- ・時差出勤・在宅勤務、通勤方法・勤務地の変更

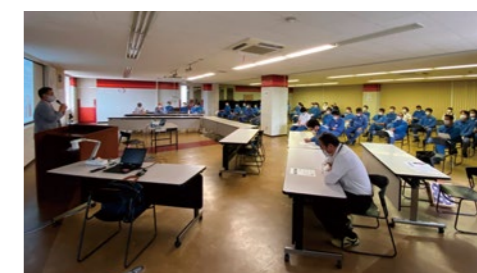
今後もこれまで以上に、社員一人ひとりが自己管理を徹底して、感染拡大防止に努めてまいります。

### ハラスメント勉強会の開催

2020年6月1日から「労働施策総合推進法(通称:パワハラ防止法)」が施行されたことを受け、全社員を対象にハラスメントの理解の促進と周知を目的とした勉強会を開催しました。

今回の勉強会では、「ハラスメントとは何か」「パワハラ防止法の基本」「パワハラ」の定義・3要素」「法で定められたパワハラ6類型」「ハラスメントに対する防止の考え方」等、パワハラに焦点を置いた基本的な内容で実施しました。

今後もハラスメントについて、正しい知識の習得、風通しの良い職場環境の整備など、引き続き、ハラスメントの防止に取り組んでまいります。



ハラスメント勉強会



# ESG コーポレート・ガバナンス

～グローバルで、信頼の経営を～



## グローバルベースでのガバナンスの強化

当社は経営の透明性を高め、経営環境の変化に柔軟かつ迅速に対応できる組織体制を整備するとともに、グループ全体でコンプライアンス体制を構築することが必要と考えております。

海外グループ会社を含むすべての社員に向け、大切にしていきたい思い、考えをまとめた「Sinto Beliefs」を制定し、企業倫理行動指針、安全方針、環境方針および品質方針を共有しています。特に、海外グループ会社とは、各社のトップが参加する「Sinto International Conference」を開催し、グループ全体の経営方針の周知徹底をはかるとともに、リスクマネジメントの状況やサステナビリティ活動の推進状況等について確認を行っています。

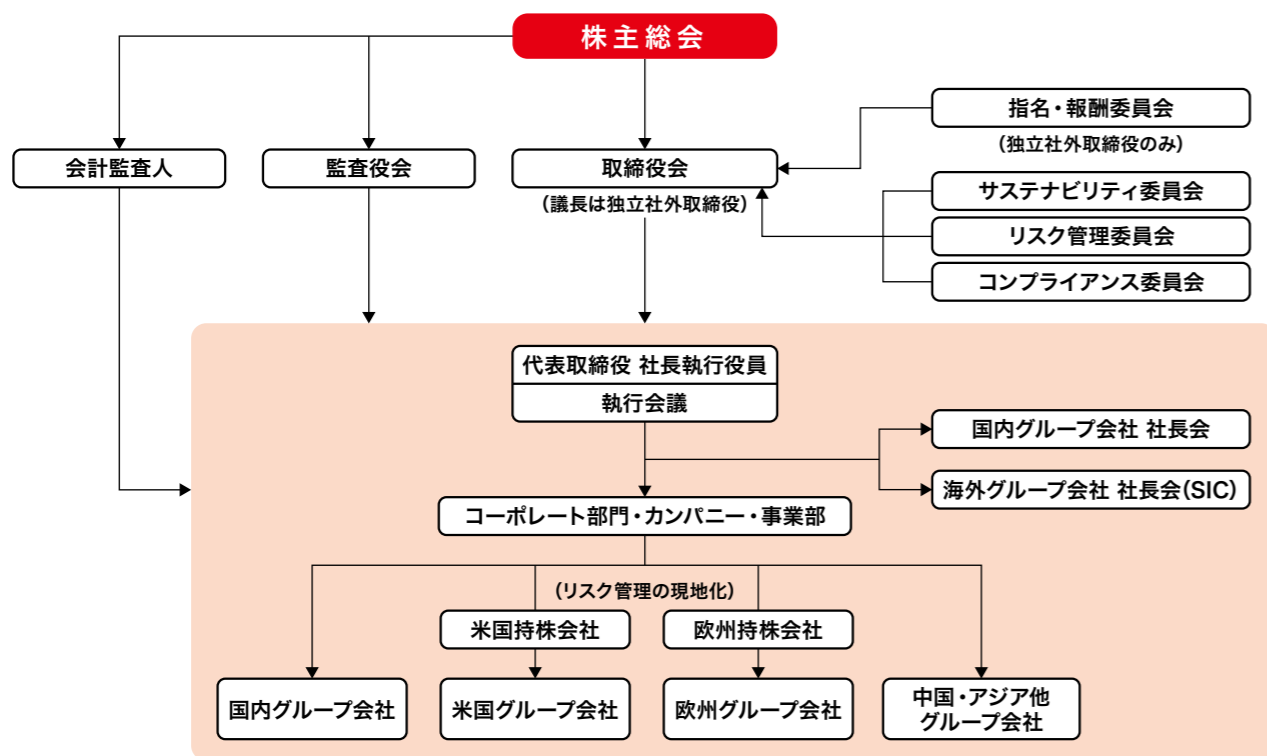
## シントー・ヨーロッパの設立

当社は、2019年に設立したシントー・ヨーロッパ社によって、欧州グループ会社4社のリスク管理をより効果的に、また実効的に実施しています。

2021年5月、シントー・ヨーロッパ社は欧州グループ会社と合同会議を開催し、リスク管理の仕組みを確認するとともに、仕組みを確実に実行するための社員への啓蒙活動の実行確認を行いました。具体的には、情報セキュリティリスク対策や火災・自然災害リスク対策についての仕組みと啓蒙の確認、保険付保の見直しを通して、リスクマップで示された高いリスクの発生影響度を減らす取り組みを行っています。

引き続き、欧州グループ会社の欧州共通のリスクマネジメントの支援を行い、より深度の高いコーポレートガバナンスを実施していきます。

## コーポレート・ガバナンス体制



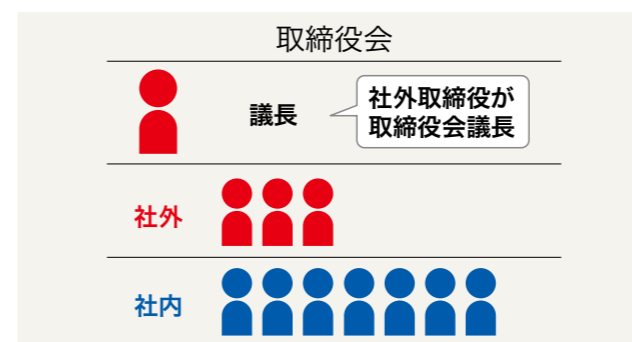
## 取締役会

当社の取締役会は、11名の取締役で構成されています。取締役の選任基準は、取締役会で決議され、候補者は指名・報酬委員会の答申を受けて決定されます。11名のうち、4名は社外取締役で、全体の1/3を超えています。また、取締役会の多様性にも留意し、2021年度に女性取締役(社外)を1名選任しています。

社外取締役4名は、上場会社の経営トップとして会社経営に関する豊富な経験や高い見識を有しており、取締役会における意思決定や経営の監督に的確な助言を行い、取締役会の実効性向上に貢献しています。

2020年度の実効性は高めるため、社外役員へは、事前に資料を配付し、内容説明を行っています。

## 取締役の構成比

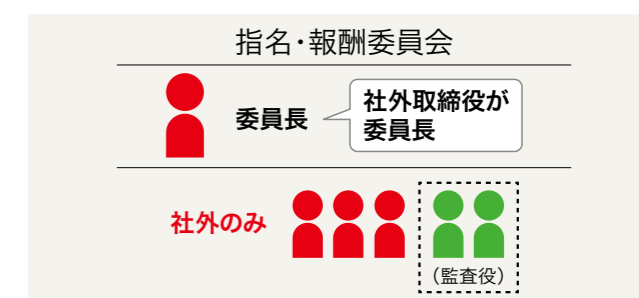


## 指名・報酬委員会

当社は、取締役・監査役候補者と報酬制度の検討等を行うために、任意の組織として指名・報酬委員会を設置しています。同委員会は、社外取締役4名が委員となり、社外監査役2名が陪席するもので、独立社外役員のみで構成しています。

2020年度の指名・報酬委員会は、計2回開催し、取締役の評価および取締役候補者案等について独立性・客観性の高い審議を行い、取締役会に答申しています。

## 指名・報酬委員会メンバーの社外役員比率



## 内部統制

当社では、「内部統制システムに関する基本方針」を定め、新東工業グループ全体の業務の適正性を確保するための体制を整備しています。

コンプライアンス・ガバナンスに関するテーマのみを手掛ける組織として「コンプライアンス委員会」(委員長は代表取締役、委員は取締役・上席執行役員全員)を独立組織とし、取り組みの深化をはかっています。

また、金融商品取引法に基づく、「内部統制報告制度」により、内部統制の整備や運用が適切に実施されているかを、監査部門が定期的に監査し、その後、監査法人の評価を得て、金融庁へ事業年度ごとに内部統制報告書を提出しています。

## 執行会議

2021年4月から、執行体制を拡充して、社内取締役は執行役員を兼務するものとするとともに、従来の経営会議をより充実させた執行会議を設置しました。執行会議には、各カンパニーのトップに加え、主要な海外グループ会社・国内グループ会社のトップがメンバーとなり、業務執行状況について報告・討議していくことを目指していきます。

### 事業継続計画(BCP)

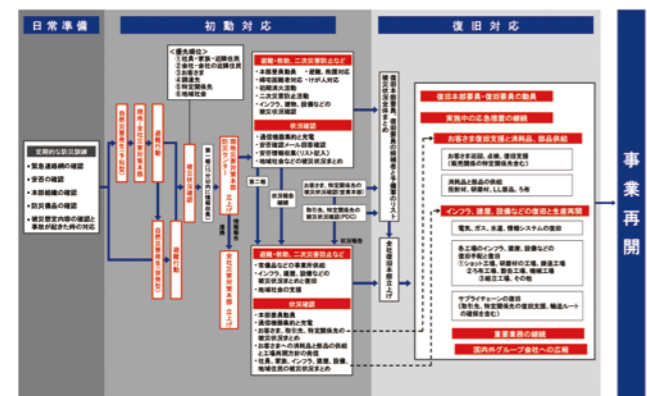
近年、大規模な自然災害が多発しています。当社では緊急事態に遭遇した時に、社員とその家族、地域社会や取引先に対して何ができるかを考えるとともに、お客さまへの部品供給等の責任を果たすため、事業継続計画(BCP)を策定し、防災・減災に向けた活動に継続して取り組んでいます。

防災の日には、全事業所の選抜メンバーによる初期消火、応急手当、救命救護の競技大会を開催しました。事前に予選会を開催し、選出されたメンバーが日頃の防災訓練等で培ってきた成果を披露し、競い合いました。

また、災害が発生した際には、対策本部要員は救護活動や二次災害防止に向けた活動を円滑に進めるべく、BCPマニュアルに基づいた手順書とチェックリストを活用した防災訓練を繰り返しています。



自衛消防隊のメンバーによる競技大会



自然災害発生時の対応フロー

### 新東スピークアップ制度

当社は、リスク管理の一環として、法令違反や不正行為などを予防または早期発見して是正することを目的に、新東スピークアップ制度を設けています。当社および国内グループ会社の役員が、当社の監査役、法務部門または外部の弁護士を相談窓口として通報を行うことができるよう運用しています。通報者が不利益な取扱いを受けないよう社内規則を定め、制度が利用しやすい環境を整備することでコンプライアンス上のリスク低減に努めています。

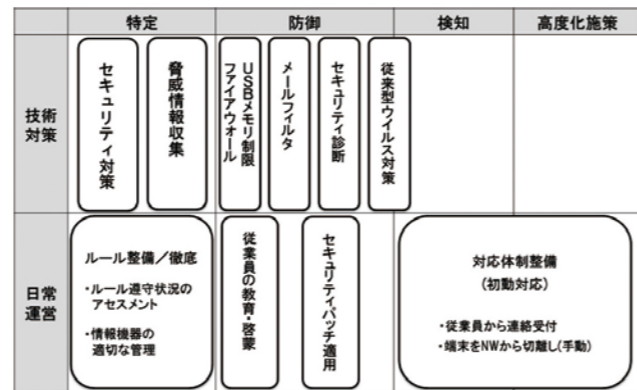
2020年度は12件の相談が寄せられ、それぞれの事案に対し、事実調査を行ったうえで適切に対処するとともに、年間活動状況について、取締役会に報告しています。

### 情報セキュリティの取り組み

近年、サイバー攻撃が巧妙・複雑化しており、情報セキュリティの重要性はますます高まっています。会社の機密情報や情報システムを守ることはもとより、当社では、事業の付加価値向上にむけ、サービスの情報化・デジタル化を推進しています。

サイバー攻撃の脅威から情報資産を守るため、「情報セキュリティワーキンググループ」を設置し、情報セキュリティに対するリスクを洗い出してリスクマップを策定するほか、さまざまな活動に取り組んでいます。

2020年度は、「秘密情報管理ガイドライン」を制定し、情報セキュリティ強化に向けて、啓蒙のための情報を社内へ発信するとともに、全社員を対象に標的型攻撃メール訓練を実施いたしました。また、年間活動の状況は、取締役会に報告しています。



情報セキュリティの対策マップ

### 適切な情報開示とIR活動

当社は、国内外の投資家の皆さまとのインベスター・リレーションズ(IR)を重視し、企業経営と事業活動に関する情報の当社IRサイトへの掲載や、半期決算ごとのアナリスト・機関投資家向け説明会の実施等を通じ、迅速かつ正確な情報開示に努めています。

さらに、株主・投資家の皆さまだけでなく、広く情報を開示するため、当社ホームページなどを通じて、企業経営や事業活動についての情報を積極的に開示しています。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、対面でのコミュニケーションを図ることが難しい状況ではありましたが、LIVE配信による決算説明会、オンラインで開催されたIRフェアへの参加、株主様向けに会社紹介の動画をオンデマンド配信といった、コロナ禍における新たな形式のIR活動を行ってまいりました。

また、毎年、株主アンケートを実施し、貴重なご意見、ご要望をお聞かせいただいておりますので、今後のIR活動に生かしていくとともに、引き続き、株主の皆さまとのコミュニケーションを図る機会を設けてまいります。

## 2021年度 ESGに関する主要な取り組みと目標

○:目標達成 ×:目標未達成

	2020年度 主要な取り組みと目標	2020年度 実績	評価	2021年度 主要な取り組みと目標
E	CO <sub>2</sub> の排出量 前年度比 1.0%削減	CO <sub>2</sub> の排出量 前年度比 7.9%削減	○	CO <sub>2</sub> の排出量 前年度比 1.0%削減
	売上高原単位 1.0%低減	売上高原単位 14.6%増加	×	売上高原単位 1.0%低減
	環境に配慮した商品の販売によるCO <sub>2</sub> の削減量 12,100t/年	環境に配慮した商品の販売によるCO <sub>2</sub> の削減量 10,168t/年	×	環境に配慮した商品の販売によるCO <sub>2</sub> の削減量 12,000t/年
S	“新東いものキャンパス®”の積極開催	“新東いものキャンパス®” 2回開催 (8回開催予定のうち6回開催中止)	○	“新東いものキャンパス®” “新東プラスト工房”の積極開催
	健康経営優良法人 5年連続認定およびホワイト500認定	5年連続で健康経営優良法人には認定されたが、ホワイト500には認定されず	×	健康経営優良法人 6年連続認定およびホワイト500 再認定
	女性特有の健康課題(子宮頸がん)に関する勉強会を11拠点で実施	女性特有の健康課題(子宮頸がん)に関する勉強会を11拠点で実施	○	生活習慣病の重症化予防対策として健康診断結果に基づく有所見者のフォロー率100%
G	個人株主向け説明会・機関投資家ミーティング開催数 10回	株主様向け会社説明会動画の配信・機関投資家ミーティング開催数 13回	○	個人株主向け説明会・機関投資家ミーティング開催数 10回
	情報管理にかかる具体的なルールの制定	「秘密情報管理ガイドライン」を制定	○	改訂コーポレートガバナンス・コードにコンプライ90%以上
	取引先とのコンプライアンスにかかる各種契約の見直し	3種の契約を見直す計画のうち、2種の見直し完了	×	社内規程の見直し100%完了

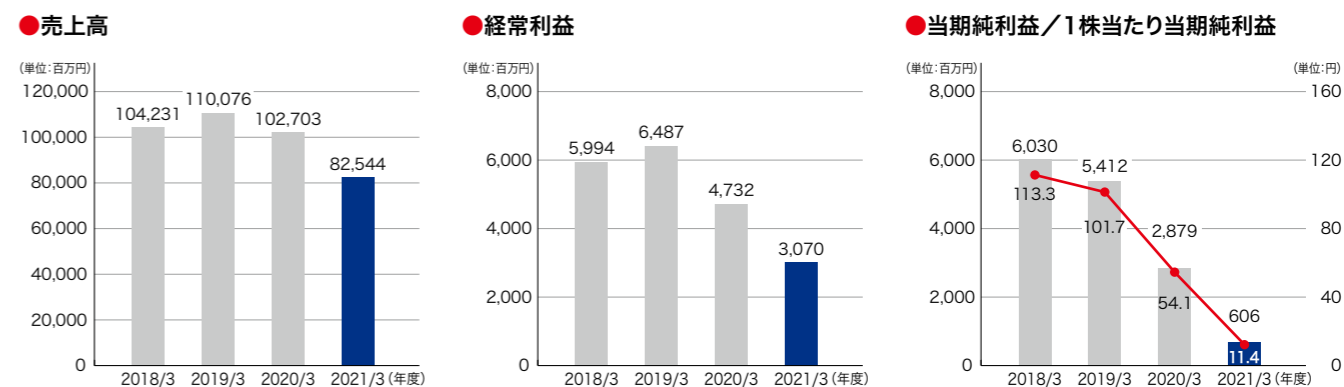
## 会社概要

商号 新東工業株式会社  
 本社 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号  
 設立 1934年(昭和9年)10月2日  
 代表者 代表取締役 社長執行役員 永井 淳  
 資本金 57億52百万円 (2021年3月31日現在)  
 従業員数 単体:1,743人  
 連結:4,063人 (2021年3月31日現在)

## 事業内容

事業区分	主要な製品内容
表面処理事業	ショットプラストマシン、エアープラストマシン、ショットピーニングマシン、パレル研磨装置、精密ブラシ研磨装置、高精度微細加工装置、表面評価装置、表面処理受託加工、表面処理分野部分品、投射材、研磨材等
鑄造事業	鑄造型装置、Vプロセス装置、中子造型装置、鑄物砂処理装置、自動注湯装置、サンドコーティング設備、鑄造分野部分品、粉粒体処理装置、耐摩耗鑄物等
環境事業	集塵装置、脱臭装置、廃水処理装置、VOCガス浄化装置、環境関連分野部分品等
搬送事業	昇降装置、段差解消機、グラビティコンベア、搬送システム等
特機事業	有機ELパネル製造装置、同自動ライン(供給・搬送装置含む)、ハンドリングロボット、サーボシリンダ、検査・測定装置、精密計測装置、精密プレス装置、ディスプレイ、電池原料供給装置、3Dプリンター装置、セラミックス製品、成形装置、自動車用ドア組立装置、金属磁性粉末、無菌環境提供装置、特機関連分野部分品等
その他事業	機械設計、福利厚生事業等

## 連結業績の推移



## ESGLレポート2021

- 対象期間 2020年4月1日～2021年3月31日  
ただし、必要に応じて、上記期間以外の情報も含んでいます。
- 対象範囲 新東工業グループ(新東工業株式会社 および グループ会社)  
※部分的に新東工業株式会社(本文では「当社」と表記)に限定している場合もあります。
- 発行日 2021年6月22日(次回 2022年6月予定)
- お問合せ先 総務部

## 新東工業株式会社

〒450-6424 名古屋市中村区名駅三丁目28番12号

Tel 052 582 9211 Fax 052 586 2279

[www.sinto.co.jp](http://www.sinto.co.jp)



「Company Song」  
新東工業グループ共通の思いを表現し、  
企業理念の浸透をはかっています。

VOC  
FREE T&K

VOC(揮発性有機化合物)成分フリーの  
インキを使用して印刷しました。

